

ニュージーランドで迎える初めての朝は、青空が広がる爽やかな天候となりました。3月は、南半球では秋に当たりますが、日中は30度近くまで気温が上昇し、汗ばむ程の日差しの強さです。

今日からいよいよホストスクール【Melville High School】での生活がスタートしました。初日のホームステイから一夜明け、登校してきた生徒さんの話題はホストファミリーの話で持ちきりです。感想を聞くと、「折紙を教えることができた」、「ファミリーが優しくて、安心した」という喜びの声がある一方で、「凄く緊張した」という素直な気持ちや、「言葉や文化の違いから距離を縮めることができなかつた」と悪戦苦闘している生徒さんもいらっしゃいました。しかし、「今日からはっきりとYES/NOを伝える」、「完璧に伝えるよりも、楽しむことを目標にしたい」と皆さん前向きです。試行錯誤しながら、家族との絆を深めていって欲しいと思います。

学校初日の今日は、ニュージーランドの先住民、マオリ族に伝わる、伝統的な歓迎式（ポフィリ）で温かいおもてなしを受けました。Melville High Schoolは600名程の生徒が在籍し、その約半分がマオリ系とのことで、校内のいたるところにマオリ語が表示されています。ポフィリは全てマオリ語で行われ、その独特な静粛な雰囲気にも生徒さん達も引き込まれていった様子です。歓迎をして頂いたお返しとして、代表の男子生徒さんによるスピーチと日本からのお土産を渡して頂きました。英語でのスピーチ、きっと緊張しているだろうなど見守っておりましたが、心配もなんのその、身振り手振りを加え、笑顔で自分の気持ちを一生懸命伝える彼の姿を、現地校スタッフの方が優しい眼差しで聞いていらっしゃるのが印象的でした。

その後、午前中は2クラスに分かれての英語レッスン、午後は現地校に通うマオリの生徒さんと一緒にマオリ文化についての学習と初日から盛り沢山の内容で進行了しました。その中でも今日のハイライトは、バディと一緒に過ごした休憩時間だったように思います。ニュージーランドでは、昼食の前に長めの休憩時間があり、そこではスナックなどの軽食を取ったり、遊んだりと思いつきの時間を過ごすことができます。バディが迎えに来てくれ、一人一人緊張の対面。笑顔のバディとは対照的に、固い表情のまま半ば連行されるように連れ出される生徒さんの姿もありました。しかし、バディの明るい表情が生徒さんの緊張をほぐし、しばらくすると、笑い声があちらこちらから聞こえてきました。キャッチボールをするグループ、日陰でフルーツを食べながら談笑するグループと十人十色の過ごし方でしたが、バディと意思疎通が取れた際の生徒さんの笑顔がどれもとても輝いて見えました。

ニュージーランドという異国の地で、生徒さんが多くのことに触れ、挑戦し、小さな成功体験に彩られた研修になるよう、明日も引き続きサポートさせていただきます。

諏訪清陵高等学校附属中学校 ニュージーランド語学研修 報告書 2日目 3月5日(火)
【Melville High School】



諏訪清陵高等学校附属中学校 ニュージーランド語学研修 報告書 2日目 3月5日(火)
【Melville High School】

